

社会医療法人居仁会 ファミュー・ヒナガ 地域連携推進会議議事録

日時 令和 8 年 1 月 24 日（土）9：30 受付 9：45～11：30＜9：50～ 10：05 住居見学＞

場所 見学： 社会医療法人居仁会 ファミュー・ヒナガ B 館、C 館

事業説明・交流会： 社会医療法人居仁会 研修棟 1 階 活動室

参加者 地域関係者 3 名、入居者 6 名、（見学案内役 1 名、事前インタビュー参加 2 名含む）、

入居者家族 2 名、ファミュー・ヒナガ 管理者、サービス管理責任者、世話人 3 名、看護師 1 名
社会医療法人居仁会地域生活支援部福祉サービス事業課課長

議事

1. 事業説明・入居者、職員からの意見

配布資料（パワーポイント資料、法人理念、資料 1）参照のこと

※ 法人理念、資料 1 については会議終了後回収

入居者から）

- ・ 25 年ファミューにいるが 1 度も入院をしたことがない、入院と違ってファミューは外出簿を記入しないでいい（自由に外出できる）、好きな物を食べることができる。2～3 年前から足が痛い、不安なときは職員さんに買い物についてきてもらっている。ラジオで深夜便を聴いている。みんなええ人ばかりでようしてもらった。
- ・ 入院していたときは外出せず引きこもっていたけれど今は自由な時間がある。眠たいときに眠れて自分のペースで過ごせる。ファミューに入居して 4 月で 3 年。平日（月水金）、土と仕事に行っている。食事は自炊をしたりスーパーで買っている。困りごとは冷蔵庫が共有の 1 台であること、4 人で 1 台を使っているが 2～3 人で 1 台使えるようになるといい。
- ・ <ファミューでの楽しみは> 食べること、外に出られること。ファミューに来て 3 年くらい。日中はデイケアに通っている。スーパーやドラッグストアに買い物に行く。1 週間に 1 回朝食を買いに職員さんと買い物に行く。<ファミューへの要望> みんなが使える共有の自転車を 2 台～3 台置いてほしい。
- ・ <ファミューの楽しみは> 一人でテレビを見て横になっている時。<食事は> 宅配弁当
ファミューに来て 1 年。日中はデイケア、買い物は職員さんに 2 人ついてきてもらっている
<困りごと> 腰が痛くてなんともなりません
- ・ 入居して 2 ヶ月、日中はデイケアに通っている、ゆくゆくは仕事も考えている。ファミューにきてショッピングセンターでの買い物、料理、編み物など入院中できなかったことができています。入院中出してもらえなかったお寿司が食べることができた、友人と食事に行ける。<困りごと> 台所が共有のためきれいに使えているか、他の人とトラブルにならないかが心配。

職員から）

- ・ 勤務を始めて 1 年数ヶ月、人とのつながりが大事だと感じた。目をみて表情をみて話すように心がけている。「ありがとう」と言われると張り合いがある。「感謝」という言葉を大切にしたい。難しいことは入居者の話を聞くこと、どこまで（自分が）話をしてよいか。
- ・ <大切にしていることは> 個人情報漏らさないこと、入居者の意識と意思。言葉遣い、入居者の表情をみること、入居者との距離感を大事にしている。
看護職としては、疾患について説明をしたり、生活や食事指導についてたずねられたら答えるよう

にしている。季節ごとの感染症に対する準備、職員への啓発も行っている。＜難しいことは＞日常的な擦り傷などへの対処、他の看護職員がいるときは相談するようにしているが、一人のときはどうしようかと。

サービス管理責任者から)

- ・入居者が自分らしく主体的に生活を送れるように支援を行うことを大切にしている。入居者も職員も生き生き元気に過ごせるよう環境を整えていくことを目指している。生活に密着するグループホームだからこそ、権利擁護の視点を常に持ち、職員の方にもその視点を持てるよう働いていただくことも大切と考えている。

2. 質疑応答

ご家族から)

- ・特に要望なし、これらからもよろしくお願いします
 - ・共同生活に入ってから変わってきた、自分でやらないといけない、ルールに基づいてやっていくこと（でできるようになってきた。）
 - ・一度夜遅く電話がかかってきた、鍵を持たず外に出ている間に鍵をかけられて中に入れなくなったとのことだった。その際は病院に電話をするように伝えたが病院の人にわかってもらえなかったよう。中の人に気づいてもらって入れたが・・夜間何かあったときには病院（夜間当直）と連携をとってもらいたい。
- 職員が夜間不在となるため、緊急時は総合心療センターひながに電話をするよう入居者には伝えてあり、法人にも周知している。特に年末年始など法人が長期休みに入る際など法人内で再周知するようにしているが、周知徹底できるようにしていく。

地域関係者から)

- ・知らないことも多く、会議に参加できてよかった。持ち帰って（機関で）共有させてもらいます。
- ・色々知ることができてよかった、買い物などでお困りのことがあればおっしゃってください

ファミリーユから)

- ・意欲低下や体力の衰えて公共交通機関を使ってまで余暇の外出を希望されない方が多い。タクシー代の補助などあれば外食や買い物などの楽しもうという意欲も出てくるかもしれない。日常の中でちょっとした非日常の機会を得ることも大切にしていきたい。
- ・廃棄に困り乾電池を大量にためている方がいる。乾電池の回収ボックスが地域にあれば助かる

3. 地域関係者様よりご講評

ファミリーユの見学、案内を入居者さんにしてもらえてよかった。どういうところで暮らし職員がどう働いているのか知れて良かった。入居者さん、職員さんから話を聞けてよかった。「あなたのために」ではなく「あなたとともに」という言葉があったかくてよかった。職員さんからの「人とつながりが大事」「個人情報の堅持と言葉遣いに気をつける」という話がとてもよかった。

住居の見学で、防災備品のヘルメットや感染症用のバケツ（ノロウイルス発生時の備品）が準備されていた。今日は決して事業所を褒めるために参加したわけではないが、備えをしっかりとっている事業所でありここに住む入居者は幸せだなと思った。

4. 福祉サービス事業課課長より挨拶

今日はありがとうございました。

これらも厳しい目も持ちつつ地域の中でファミリー・ヒナガをみていってもらえたらと思う。

5. アンケート

参加者アンケートを実施

以上